

2023. 7. 5

報道関係者 各位

< 配信枚数2枚 >

～AI ロボットを活用した新たな国際教育の可能性～
カリフォルニア大学など海外大学とのオンライン国際交流を
自律走行型 AI ロボット「temi」を活用して実現！

立命館大学は、自律走行型 AI ロボット「temi」(以下、「temi」)を活用して、本学の学生が海外大学の学生とオンラインで国際交流を行う授業を実施します。

この授業は、「プロジェクト発信型英語プログラム(Project-based English Program: PEP)※」として位置づけられ、生命科学部、薬学部の学生を対象に必修科目として開講しています。この授業では、両学部の約 600 名の 3 回生が約 5 名のグループを形成し、共通の専門分野における問題意識をテーマにプロジェクトを立ち上げ、調査を実施しました。それぞれのグループは 6 月末までプロジェクトを推進し、今回はその成果を英語でのポスター発表という形式で披露します。

今回、このポスター発表を「temi」を活用し、アメリカ・カリフォルニア大学などの海外大学の学生がリアルタイムに参加します。発表後に「temi」を介し、海外の学生とディスカッションを行い、発表についてのフィードバックや意見を交換して、相互の理解を深めます。

本学では、コロナ禍により海外留学の経験ができなかった学生に対する積極的な支援を行っています。現地渡航型の海外留学だけではなく、オンラインでの国際交流の実施も積極的に推進することで、より多くの学生に国際的な交流の教育機会を提供したいと考えています。今回の授業では「temi」を活用し、海外の大学生との交流を通じて、学生たちの国際的な視野を広げる機会としたいと考えています。

※「プロジェクト発信型英語プログラム(PEP)」WEB サイト <http://pep-rg.jp/>

■授業概要

- ・授業日 : 2023 年 7 月 12 日(水)
 - ・授業時間: 1限(9:00～10:30)、および2限(10:40～12:10)
 - ・場 所 : 立命館大学びわこ・くさつキャンパス ローム記念館 3 階展示室
- ※各時限、100 名から 200 名程度の学生が出席予定です。
※「temi」は 10 台程度自走する予定です。

※取材を希望される場合は、前日 17 時までに本学広報課までご連絡ください。

本リリースの配布先: 草津市政記者クラブ、文部科学記者会

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当: 池田

TEL.075-813-8300

Email. r-koho@st.ritsumeai.ac.jp

別紙

■自律走行型 AI ロボット「temi」

「temi」は、イスラエルの会社である Robotemi Ltd.が開発した自律走行型の AI ロボット。人間とコミュニケーションを取りながら、さまざまなタスクを遂行することが可能な AI ロボットです。

【主な機能概要】

1. 自律走行:

センサーやカメラを使用して周囲の環境を認識し、障害物を回避しながら移動し、さまざまな場所で自由に移動することができます。

2. ビデオ通話:

タブレットが搭載されており、ビデオ通話が可能です。ユーザーは temi を通じて他の人と簡単にコミュニケーションを取ることができます。

3. エンターテインメント:

音楽の再生や動画の視聴などのエンターテインメント機能を提供。また、カメラを搭載しており、写真やビデオを撮影することも可能です。



■ポスター発表の方法について

各回最大 20 グループが一斉にポスター発表を行います。発表は全て英語で行われ、発表を行わない学生グループは自由に他のグループの発表を聞きます。各グループの発表は 15 分です。

海外大学の学生は、10 台の「temi」を通じて発表を視聴します。「temi」は 1 対 1 で接続され、原則 1 台に対して 1 名の海外大学の学生が参加します。その学生の顔写真が「temi」の液晶ディスプレイに表示されます。「temi」で参加する海外大学の学生は 1 回のポスター発表を聞き終えた後、次の 15 分間は別のポスター発表を視聴します。また、当日は短期留学で本学が受け入れているカリフォルニア大学デービス校の学生も会場で参加予定です。

■「プロジェクト発信型英語プログラム(PEP)」について

ライフサイエンスなどの学問分野がグローバル化し、英語での発信が必須となっている現状に対応し、立命館大学生命科学部、薬学部、スポーツ健康科学部、総合心理学部では、「プロジェクト発信型英語プログラム(PEP)」(以下、PEP)を必修化しています。各学問分野の先端的研究をプロジェクトのテーマとし、世界中から情報を集め、議論し、その成果を英語で世界に発信する能力、すなわちグローバル・コミュニケーション能力の基礎を育成することがこのプログラムの狙いです。

PEP では学生が自身の興味・関心のテーマを追求し、その結果を英語で発信する「Projects」、そして英語の基本能力や応用スキルを強化する「Skill Workshops」の二つの要素から構成されています。ICT も活用することにより自律的な学修を促し、英語力の基盤作りと、卒業後も自律的に 4 技能(聴く、話す、読む、書く)を磨ける力の養成を目指しています。

また、PEP では WEB サイトで教員の研究活動を公開しており、さらに毎年、「PEP Conference」と称したイベントを通じて、教育実践の報告やパネルディスカッションなどを行い、積極的に情報を発信しています。

※「PEP Conference」WEB サイト <https://conf.pep-rg.jp/2022>